

有馬街道・清荒神から伊丹昆陽までを歩く

第 89 回武庫川エコハイク

014.9.13 エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km²。篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の蓬川の東側が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。本川の源流は篠山市にある。篠山市から三田盆地までは緩やかな傾斜であるが、道場を過ぎると武庫川渓谷の急流となる。武庫川下流の治水対策として武庫川渓谷に治水ダムが計画されたが、県は武庫川流域委員会を設置して 2 年半にわたり協議した結果、平成 22(2010)年 10 月、20 年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなった。

有馬街道 尼崎、伊丹から有馬へ通ずる古い街道。今回は尼崎と有馬を結ぶ道を清荒神参道から小浜宿を経て伊丹の昆陽宿までを歩く。

清荒神参道 分岐点に従是 8 丁清荒神の町石がある。

清荒神清澄寺 蓬萊山清澄寺。かまどの神様、三宝荒神さんで知られる。寛平 5(893)年宇多天皇に御仏のお告げがありこの地蓬萊山に伽藍を建て仏教を広めるなら国家安泰が図れるとあり、寛平 8(896)年清澄寺を開創、併せてこの地の主尊荒神尊を祀ったという。宇陀天皇は「日本第一清荒神」の称号を与えられた。その後源平合戦、織田の時代戦火にさらされて焼失している。何度も再建されて現在に至る。

売布神社参道 有馬道との分岐点に従是北 8 丁売布神社の町石がある。

売布神社 推古天皇 18(610)年式内社売布社として創建されたが、中世に入って貴布禰神社となっていた。大岡忠相が寺社奉行になり全国の式内社を並河誠所に調査させたところ、貴布禰神社が売布神社であることが判明した。

米谷(まいたに) 売布谷、米谷、米種がなまったという。

米谷一里塚と北向薬師堂 僧行基が昆陽寺建設時に薬師如来を 2 体作り、1 体を昆陽寺へ、1 体をこの薬師堂に安置したという。この境内の松に豊臣秀吉が馬をつないだともいう。江戸時代には一里塚が置かれ大きな榎があった。

鯛坂と国府橋 いわし坂は武庫の浦でとれた鯛を荷揚げしたことからこう呼ばれた。有馬街道への出入り口。明治 8 年に有馬街道に国府橋が架けられた。橋近くに道標がある。「の道」は野道の意味。

旧和田家住宅と道標 江戸時代中期の民家遺構。市立歴史民俗資料館。

小浜宿 毫摂寺の寺内町として栄え、豊臣秀吉の時代から有馬街道、京伏見街道の宿場町として繁栄した。

皇太神社 祭神は天照大神、嘉吉元(1441)年創建と伝えられる。小浜町の鎮守。境内に蛭子社がある。鳥居横に「右きよ水」(加東町清水寺)と巡礼道の道標がある。

札場辻 小浜宿の中心に制札をあげた高札場があった。ここを札場の辻と呼び、京伏見、有馬、西宮の各街道がここに合流している。この市場町、倉橋町に小浜宿の面影が残されている。

宝塚市小浜資料館 戦国時代の武将尼子藩の山中鹿之助を祖に持つ山中家は小浜宿の中心に居を構え、酒造業その後医業に携わってきた。その一部を利用して市立小浜宿資料館をオ

ープンした。

毫摂寺(ごうしょうじ) 浄土真宗本願寺派の寺院。「小浜御坊」と呼ばれ秀吉の有馬行きの宿舎となった。戦国期にはここを中心に寺内町が形成された。

小濱村道路元標 京伏見街道との分岐にある。

松林寺 浄土宗の寺院、知恩院の末寺。本尊は阿弥陀如来は運慶作ともいわれる。

安倉 安倉(あくら)は安鞍といわれ、聖徳太子が仏教興隆のためこの地を馬に乗り回られた折、乗馬が足を止め動かなくなりそこから金鶏が飛び立ったという。太子はここは霊所として馬の鞍を休められたという。この場所に鶏塚を置き一寺を興されたという。

住吉神社 安倉村の氏神、天長 2(825)年創建と伝えられる。境内に 2 基の道標がある。

安倉高塚古墳 竪穴式石室を持つ古墳で前期古墳時代(4 世紀末)のもの。宝塚指定史跡。

大連寺 鶏塚のある寺が聖徳太子ゆかりの寺大連寺である。境内に聖徳太子御霊場の石碑がある。

姥(ばん)ヶ茶屋道標 小浜東口道標と同年建立の古い道標である。ここで大阪へ行く有馬道と尼崎に行く道とが分岐する。茶屋が数軒あったという。

常休禪寺 黄檗宗の寺院。天和 3(1683)年開山。

六甲山大権現の道標 素盞鳴神社神社前にあり、弘化 3(1846)年の銘がある常夜灯で、道標も兼ねていた。六甲大権現は六甲山の主神白山妙理権現で石の宝殿を指す。

素盞鳴神社 新田中野村の氏神、寛永 7(1630)年の開墾と同時期に創建、牛頭天王を祀ったとされる。その後明治の神仏分離により素盞鳴神社となった。鳥居の前に弘化 3(1846)年の銘がある。「左小浜」、「右大阪」とある。

天王寺川 中山寺裏の長尾山を源流とする武庫川支流の 2 級河川。

中野稻荷神社 貞享 3(1686)年から中野新田は阿部氏の領地になり、ここに陣屋を設けた。境内のイヌマキは樹齢約 400 年、樹高約 15m の県指定天然記念物。

道標と常夜灯 新田中野村の南端にあり、中山道が合流する。

天神川 中山最高峰南に流れる武庫川支流の 2 級河川。宝塚市、伊丹市の市街地を流れて天王寺川に合流し武庫川に合流する。かつては昆陽池を経て玉田川として流れ天王寺川とは別個の川だったが河川改修により天王寺川と合流した。

北向地藏堂と常夜灯 昆陽池の西側にあり、昆陽寺への行基道の分岐にある。

昆陽池と伊丹市昆陽池公園 天平年間(8 世紀半ば)僧行基が開いたといわれるため池。窪地となっていたこの地に上池、下池を作ったが、後に下池は埋め立てられて農地となった。

東(ひがし)天神社 天平年間僧行基が昆陽池を造成したときその事業達成を祈願された神社。本殿裏の庚申塚、鳥居前の道標は伊丹市指定史跡。

稲野村道路元標 旧稲野村の道路元標。市指定史跡。

西国街道 京から西日本を結ぶ主要街道の一つ。京都の東寺から山崎宿(大山崎町)、芥川宿(高槻市)、郡山宿(茨木市)、瀬川宿(箕面市)、昆陽宿(伊丹市)、西宮宿(西宮市)を通り、九州へ向かっている。